



EUIJ Institute in Japan, Kansai

## EUインスティテュート関西 (EUIJ 関西) 第3回国際シンポジウム



# 国際会計シンポジウム

EU から押し寄せる会計国際化の波

2006年 **3月20日(月)**  
午後1時30分より

神戸大学六甲台本館  
102号室

EU域内企業は、2005年1月に始まる会計年度より国際会計基準の適用が強制されている。それに伴って、2007年1月に始まる年度より域外企業も国際会計基準に準拠した財務諸表を作成しなければならない。しかし、日本やアメリカは、独自の優れた会計基準をすでに有しているために、自国基準で作成した会計報告で代替したいと考えているが、EUがそれを認めるか否かが大きな問題となる。EU域内でも、英・仏・独のような独自の洗練された会計基準を持っていた国々では、現在日米等が経験している問題を一足先に経験してきたが、未だに、適応に苦慮している企業も多い。こうした会計問題を日本の企業家や研究者とともに検討することが、今回のシンポジウムの課題である。

シンポジウム  
午後1時30分

全体司会 梶浦 昭友 関西学院大学教授

◆開会挨拶 野上 智行 EUIJ 関西諮問委員会委員長 神戸大学長

司会 平松 一夫  
EUIJ 関西諮問委員会委員 関西学院大学長

◆基調講演(問題提起)  
徳賀 芳弘 京都大学教授

◆パネルディスカッション  
Stig Enevoldsen  
Chairman&CEO, EFRAG: European Financial Reporting Advisory Group  
式部 透 金融庁審議官  
Peter Sampers Senior Accounting Officer, Royal DSM N.V.  
(former Vice President at Philips Electronics N.V.)

野村 嘉浩 野村證券金融経済研究所(投資調査部)主任研究員

◆閉会挨拶  
山地 秀俊 神戸大学教授 経済経営研究所長

◆懇親会  
神戸大学レストラン「さくら」 神戸大学アカデミア館3F  
挨拶・乾杯 桜井 久勝 神戸大学教授 経営学研究科長

参加費 無 料  
※懇親会参加の場合は2,000円

定員 150~200名

参加申込 E-mailにて「懇親会参加・不参加」を記入の上  
タイトル【シンポジウム申し込み】で下記アドレス迄、お申し込みください。

お問合せ先 E-mail: office@rieb.kobe-u.ac.jp  
(078) 803-7270

神戸大学経済経営研究所 総務係 担当 / 奥野



主催 EUインスティテュート関西 (EUIJ 関西)  
共催 京都大学経済学研究科・関西学院大学商学部会計学研究室・神戸大学経済経営研究所  
後援 関西経済連合会・関西生産性本部・神戸商工会議所